2019年度認知症地域支援推進員研修【新任者研修】
Ⅱ認知症の人とその家族の支援体制の構築及び
認知症ケアの向上を図るための取組みの推進
『連携支援・ケアパス（事例②）』

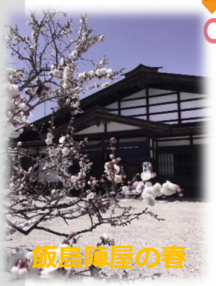
住民・介護支援事業所と共に広げる多世代の身近な支え合い
～広がる「えがおの和」繋がる地域の「和」～

長野県　飯島町
健康福祉課　高齢者福祉係
認知症地域支援推進員　那須野勇一

ふたつのアルプスが見えるまち

IIJIMA

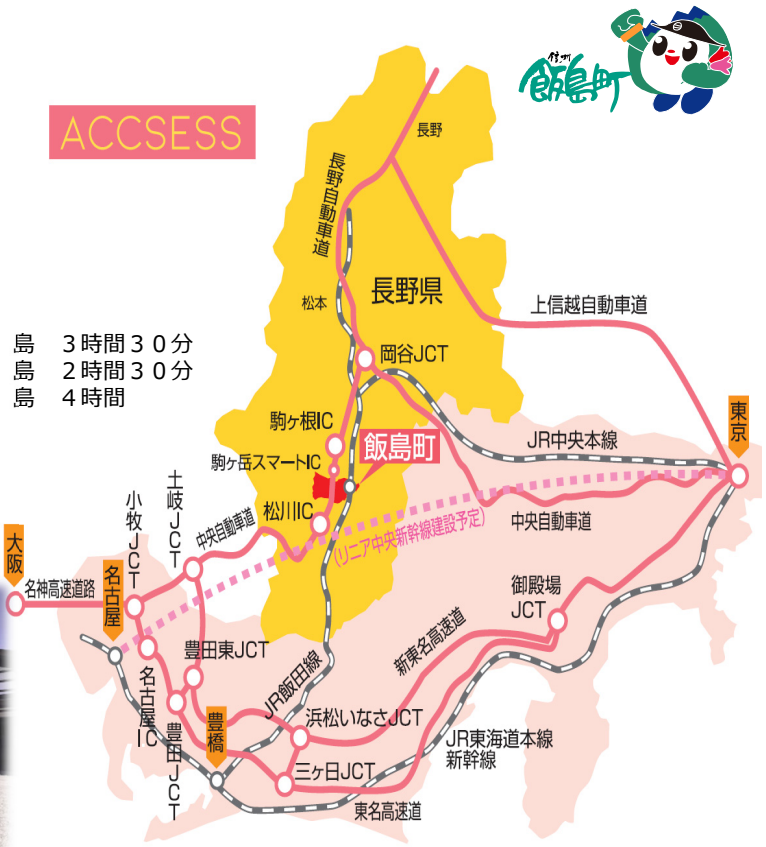
人と緑輝く ふれあいのまち 飯島町（いいじままち）。
飯島町は長野県の南部、伊那谷のほぼ中央に位置し、
西は中央アルプス、東は南アルプスに囲まれた
自然豊かな『ふたつのアルプスが見えるまち』。
また、江戸時代には、主に信州伊那谷の天領を治めた
飯島陣屋が置かれ、続く明治時代には
信州で初の県となる伊那県庁に引き継がれるなど、
長年にわたり政治・経済の中心として栄えてきた
歴史深い町でもあります。
近年は、四季の移ろいを色濃く感じながら
暮らすことのできる「理想の移住スポット」
として注目されています。



ACCSESS

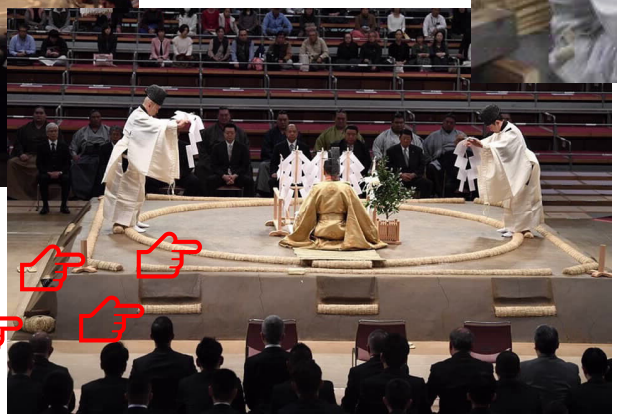
車での
所要時間

新　宿～飯　島　３時間３０分
名古屋～飯　島　２時間３０分
大　阪～飯　島　４時間



山と水

米



ここに注目！

俵

土俵俵

南信州米俵保存会

わら細工の伝統技術を継承。大相撲の「土俵俵」の作成を日本で唯一行われています。

飯島町の概要平成31年４月１日現在

人　　口　9,446人（うち65歳以上人口　3,357人）
高齢化率　35.5%
認定者数　495人（平成31年3月末現在）
日常生活圏域　１圏域
地域包括支援センター数　１ヶ所（直営）
認知症地域支援推進員２名配置
（高齢者福祉係１名　地域包括支援センター１名）
生活支援コーディネーター6名配置
（うち第2層３名、第３層２名）

事業種別	事業所数	事業種別	事業所数
居宅介護支援事業所	４事業所	短期入所介護	３事業所
訪問介護　（総合事業サービスA型事業含む）	４事業所	小規模多機能型居宅介護	２事業所
訪問リハビリテーション（サービスC型事業含む）	１事業所	認知症対応型共同生活介護	３事業所
訪問看護	１事業所	介護老人福祉施設	１事業所
通所介護　（総合事業サービスA型事業含む）	６事業所	有料老人ホーム	３事業所
福祉用具貸与	１事業所		

飯島町の認知症施策の概要１（平成２７年度まで）

【二重線は認知症施策にも関連した事業】

- 町直営　（地域包括支援センター実施）
  - 任意事業
    - 認知症サポーター養成講座
    - 家族介護教室
    - 家族交流事業
  - 町単独事業
    - いちいの会（通いの場）
- 飯島町社会福祉協議会委託事業
  - 町単独事業
    - 生きがいディサービス（通いの場）
- 町直営（地域包括支援センター）
  - 一次予防事業
    - 寺子屋いいじま（脳の健康）
    - はつらつ体操教室（運動器）
    - 福腹教室（栄養）
  - 二次予防事業
    - 貯筋教室（運動器）
    - 訪問介護予防事業（運動器）
    - 快口教室（歯科）（口腔衛生）
- 伊南４市町村広域連携ツール
  - 認知症医療連携
    - もの忘れ相談票

要介護認定者は利用対象外

飯島町の認知症施策の概要２（平成２８年度～平成２９年度）

【二重線は認知症施策にも関連した事業】

- 町直営　（高齢者福祉係、地域包括支援センター）
  - 認知症施策・生活支援体制整備事業
    - 認知症カフェ（予定）
    - 担い手養成　（予定）
    - 認知症サポーター養成
  - 町単独事業
    - いちいの会（通いの場）
    - 地域づくり啓発
    - 介護予防啓発
- 飯島町社会福祉協議会委託
  - 一般介護予防事業
    - 歩く歩く塾
    - 前期高齢者のリハビリ教室（想定）
- 総合ケアセンターいいじまいちご委託
  - 一般介護予防事業
    - 生きがい活動教室
    - 寺子屋いいじま（脳の健康）
    - 健幸教室
    - 後期高齢者のリハビリ教室（想定）
- 伊南４市町村広域連携ツール
  - 認知症医療連携
    - もの忘れ相談票

要介護認定者も利用対象　　要介護認定者も利用対象

平成27年度～平成29年度の配置形態

健康福祉課長
（地域包括支援センター長）

高齢者福祉係長

高齢者福祉係事務員
生活支援コーディネーター

平成２８年４月
生活支援コーディネーター
配置

生活支援コーディネーター研修、
地域福祉コーディネーター研修を
平成２７年度に受講

専門職資格はなく、事務経験豊富
事務職兼務で配置する。

平成27年度から高齢者福祉係と兼務の辞令となっていたが、実質は地域包括支援センターとして従事

主に介護予防ケアプランの作成が中心だった。

回顧録

地域包括支援センターが各事業の大部分を担う状況となっており、業務量としても過大であった

地域包括支援センター

- 主任介護支援専門員 生活支援コーディネーター
- 主任介護支援専門員 社会福祉士
- 保健師
- 看護師

活動の概要

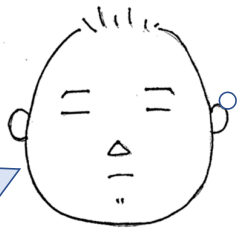
飯島町の認知症施策のはじまり

【認知症施策って何？】

平成２７年度介護保険法改正

へぇ～
介護保険改正の年なんだぁ～

生活支援体制整備事業？
生活支援コーディネーター？
認知症施策？
新オレンジプラン？
認知症地域支援推進員？
地域ケア会議？
総合事業？



飯島町役場入職３年目
主任介護支援専門員

【心の声】
地域包括支援センターの現状で
地域支援事業が行えるか？
「包括で取り組む」方針なら
やるしかないが・・・

回顧録

変わりゆく「介護保険制度」に興味がありました。
特に「生活支援体制整備事業」！
「地域づくり」に対しては思いも強かった！
認知症施策に対しては勉強不足でした。

【保険者と協議】
事業展開の考え方

①総合事業は平成２９年４月から開始

②生活支援体制整備事業は平成２８年度から開始
（平成２８年４月から生活支援コーデイネーター配置）

③認知症施策は平成３０年４月から開始
（認知症地域支援推進員の配置は平成３０年４月。それまでの期間は生活支援コーデイネーターと一体的に地域啓発を進める）

④現在の「事業」の見直し（委託も検討）

飯島町の認知症施策　～大混乱期～

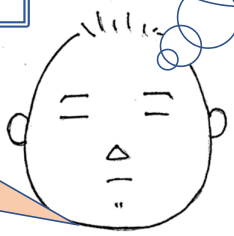
【何をどのように進めたら良いかわからない！】

生活支援コーディネーターと
一体的に認知症施策を進める上で
求められた役割

地域の支え合いづくりの啓発
生活支援コーデイネーターのサポート
（主は主任介護支援専門員）

とにかくやろう！
何か「結果」を出さなきゃ！
「支え合い」の必要性を伝えよう！
何かを創り出そう！

【心の声】
漠然的！
何したらいいの？



飯島町
主任介護支援専門員
生活支援コーディネーター

回顧録

認知症カフェやケアパスなどの立ち上げ、作成も啓発活動を行う中でやってしまおう！
それもひとつの「結果」になる！

聞こえてくる声・・・

認知症カフェ立ち上げた！
認知症ケアパス作成した！
地域づくりの勉強会
立ち上げた！

気持ちが焦る！

試行錯誤を繰り返しました！

～いろいろなご意見も頂きました～

一例のご紹介

地域の皆さんから

「認知症」を地域で支える話ではなく、認知症の病気について詳しく聞きたい。

飯島町の地域の実情では住民が先頭に立つのは難しいよ！

地域で支える大切さは理解できたが、いったい何をしたらいいの？

町はどんな「ビジョン」をこの先描いているの？

ビジョンが不明確

事業に取り組んでみて

「担い手養成講座」をやろう！
参加者は民生委員と介護保険事業所のスタッフのみ

「認知症カフェ」をやろう！
地域包括支援センター職員の動員

「支え合い講演会を企画」
参加者数名　継続できず終了する

「買い物支援」の検討会
継続開催できずに終了する

事業に「根拠」がない

役場、介護保険事業所から

「認知症」は誰もがなり得る、治らないなんて言わないで、「予防」できると言うことを伝えて欲しい！

総合事業はどう考えてるの？

地域ケア会議の考え方は？

アセスメントをしっかりやって！

「地域支援事業」を包括で担うのは「片手間」になる

保険者機能の強化
地域包括支援センターの機能強化

飯島町の認知症施策　～発展期～

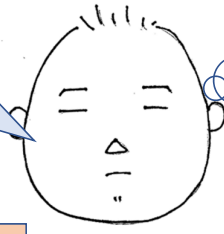
【冷静に地域を見渡すと・・・】

上手くいかない日々を重ね

・活動づくりの「ヒント」はないかなぁ～
「切り口」はないかなぁ～

・「啓発活動」してる団体あるかな？

・地域の中の身近な場所から自然な形で
啓発活動が行えないかなぁ～？



【心の声】
地域包括支援センター
保険者の体制整備も必要

【思いつき】
もしかしたら、
介護保険事業所で
何か活動しているかも？

回顧録

・まずは、**地域の「土台」づくり**が大切！
・「認知症カフェ」は創ることを急がない！
（認知症カフェの特色を大切にしたい思いがあった）
・早期発見＝介護保険にしない「土壌」づくり
・**「認知症ケアパス」は地域の「土台」ができてから**
普及啓発に入ろう！
・「担い手」育成を急がない！

【保険者と協議】事業展開の考え方

①新たに「つくる」のではなくあるものを「活かす」
（地域や活動しているところと一緒に歩む）

②住民は「認知症」に関心は高いが、「認知症」だけを切り取っ支援体制づくりは行わない。
地域の支え合いづくりを一体的に進める

見えてきた地域での活動

【介護保険事業所と歩む成功体験の積み重ね】

【自分の地域はどんなところ？】

・「課題」はたくさん。「地域にない社会資源をつくらなきゃ・・・」「何か事業をやらなきゃ・・・」と焦った。

・しかし、この地域の中には育まれている「文化」や「地域活動」がある。

・「自分の地域はどんなところ？」
「もっと知りたい」。
そんな思いから身近な所を振り返ることからスタート。

Point！

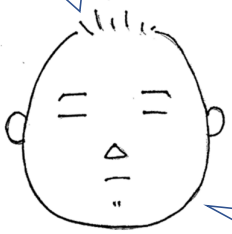
★地域の「強み」に目を向ける！
★「活動」を知る！
★「声」を聴く！

様々なボランティアがいる

・地域には、様々な団体のボランティアがある。
・個人活動ボランティアは少ない
（高齢化、名前だけの登録など）

介護保険事業所が地域活動

・介護保険事業所がある。
・地域活動を既に実施。
小学校との交流会
地域内で勉強会の開催
お正月飾りづくり　等
・定期的なカフェ開催



飯島町
認知症地域支援推進員
主任介護支援専門員
生活支援コーディネーター

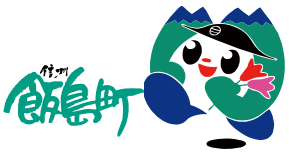
活動の展開（主なもの）

基本の事業をボランティアと介護関係者と共に
・認知症サポーター養成講座
・家族介護教室
・介護予防教室
・勉強会、研修会、啓発活動
・高齢者クラブでの啓発

多様な住民と専門職がつながり、多世代での支え合いが広がっている。

この活動に取組んだきっかけ

初夏の中央アルプス



飯島町イメージキャラクター
いいちゃん

「気づき」

・ボランティア活動の担い手が少ない
・介護保険事業所数が数多くある
・介護保険事業所の「活動」が活発
・町行政は「事業」中心
（実質的なつながりや支え合いが広がっていきにくい・・・）

春の賑わい　～与田切公園～

あれもこれもできない！
「今」取組んでいる活動を活かそう。
地域、事業所と推進していこう！

Point！

活動の方針と作戦を練る
（推進員活動計画）

あれこれやっている人手も余裕もない。新たなことをやるより、今あるものを丁寧に繋ぎ広げる役を。
★「地域支援事業」を一体的に推進
★「事業」づくりから「活動」づくりへ
★「担い手」づくりから
「理解者」づくりへ
★「事業所」から地域へ

活動内容

豊かな田園風景を望む特色

Point！

★「認知症」だけを切り取らない！
★「共生」を意識した取組みも大切！
★「総合事業」も視野に入れた一体的な多様性ある取組みを視野に！

JA厚生連宅幼老所なごみの家とともに

交流を通じて子供たちの「心」を育てる。
子供たちの活動が介護保険事業所の
「地域支援の視点」を育てる。

「生協ケアセンターいいじま」とともに

要支援２（認知症なし）元スナック店主
誰もが集える「地域交流カフェ」Open
本人の「やりたい！」を形に！

活動を進めていく上での工夫・配慮

結果を焦らない！

STEP１【熟成期】
★活動を知る
★活動を見守る
★地域を知る

事業所の活動を大切に！

STEP２【創造期】
★方向性の共有
★繋がりを共有
★地域づくりの視点を共有

新たな活動のチャンス！

STEP３【転換期】
★活動を「記憶」に！
★取組みを「喜び」に！

【目指す姿】協働・共生の地域づくり
★「認知症」だけを対象としない
★高齢者の「自立支援」と「役割」の視点を！

Point！
取組みの経過を大切に！
共に楽しむ！

この活動に取組んでの効果

子供たち、若い親世代が共に

Point！
★生活支援コーディネーターは地域啓発の積み重ねの宝庫
★介護支援専門員、介護保険事業所地域包括支援センターは「事例」と「声」の宝庫

人・声を大切にした連携と連動から地域が自然体で動き始める

地域交流カフェ
カフェスターやまなみ

生活支援コーディネーター、JA厚生連宅幼老所なごみの家と協働した「地域啓発」の広がり

介護支援専門員と連携した「自立支援・生きがい」から「本人のやりたい」を叶える場と支えあいが定着

今後の活動の展望

冬の中央アルプス

認知症地域支援推進員は「きっかけ」を投げかけ
住民等の主体的な活動の「エンジン」を回す。
そして付かず離れずの関係を保っていく！

七久保小学校児童が講師として
行ったサポーター養成講座。
子供たちが生み出した地域のサポーター

認知症地域支援推進員は「気づき」を投げかけ活動がマンネリ化・先細りしないようにみんながワクワクする「創造性」を生み出す。
そして立場を越えた地域の「繋がり」の和、成功体験の共有を広げていく！

推進員活動のあゆみ

・「地域交流カフェ」生協やまなみに開設
・「相談支援カフェ」わすれ茶屋開設
（つどいのクリニック柿田）
・若年性認知症交流会「鈴の音」開催
（近隣市町村共同　駒ヶ根市・宮田村・中川村）

平成２８年度
JA厚生連宅幼老所なごみの家と七久保小学校と連携した地域啓発活動

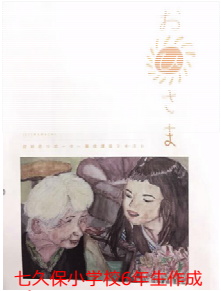
平成２９年度
総合ケアセンターいいじまいちごと連携した「しめ縄づくり」（地域で開催）

平成３０年度
・「地域交流型」「相談支援型」認知症カフェ開設
・近隣自治体と連携した取組み

高齢者疑似体験

なごみの家と七久保小学校の交流

サポーター養成講座


七久保小学校6年生作成
サポーター養成講座テキスト

地域で「しめ縄講座」
（総合ケアセンターいいじまいちご）

本人の「やりたい！」を事業所、地域住民を生活支援コーデイネーターが繋ぎ開催

わすれ茶屋
（つどいのクリニック柿田）

若年性認知症交流会
鈴の音

カフェスターやまなみ
（生協総合ケアセンター）

この活動を通して見えてきたポイント

推進員活動は「たし算」の考え方で一歩ずつ・・・
その先に新たな繋がりが生まれる

誰か ＋ 誰か ＋ 誰か ＝ 繋がりづくり

推進員活動を通じて「人」が育ち「心」が育ち「地域」が豊かに！
地域と歩む足跡が、推進員の「心」の「栄養」！

この活動を通して見えてきたポイント

Point！

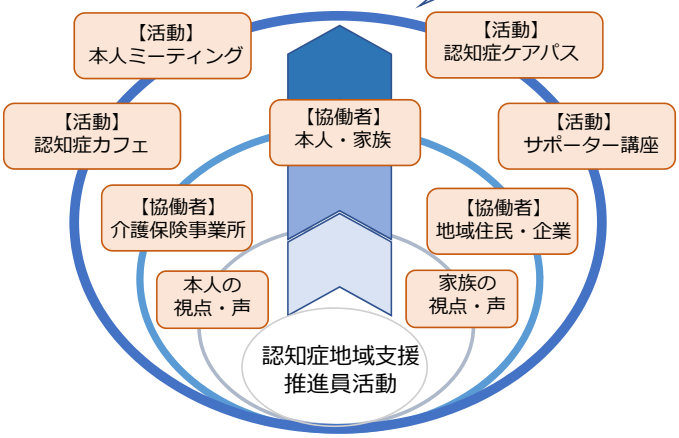
最初は手探りの推進員活動も「事例」や「声」を聴きながら、丁寧に地域を振り返る中で「理解者」「地域づくりの協働者」が生まれます。地域の「強み」を活かしたり、生活支援コーディネーターなど様々な職種や地域住民と繋がりをつくる中で「活動」に展開していきます！

「活動」づくりを急がない！
あるものを活かし、丁寧に！

Point！

「活動」は「和」となり
ひとつずつ「繋がり」結ばれる

地域づくりは人と人との「和」づくり
「繋がり」づくりは自分の「心」づくり
推進員活動を「楽しむ」その先に
「えがおの和」が待っている！



児童の地域への思いと活動を記憶に！

事業所の取組みの気持ちを「喜び」に！

七久保小学校児童作成
認知症サポーター養成講座
テキスト

飯島町の認知症施策　～そして新たな展開へ～

【認知症本人の「声」と「やりたい」を活かした活動へ】

ケアホームまんてんとともに
【活動企画会議】
（本人ミーティング）

【活　動】
料理教室
活動企画会議で決定した
肉じゃが、豚汁づくり
地域の活動協力者も参加

地域の方と「味見会」

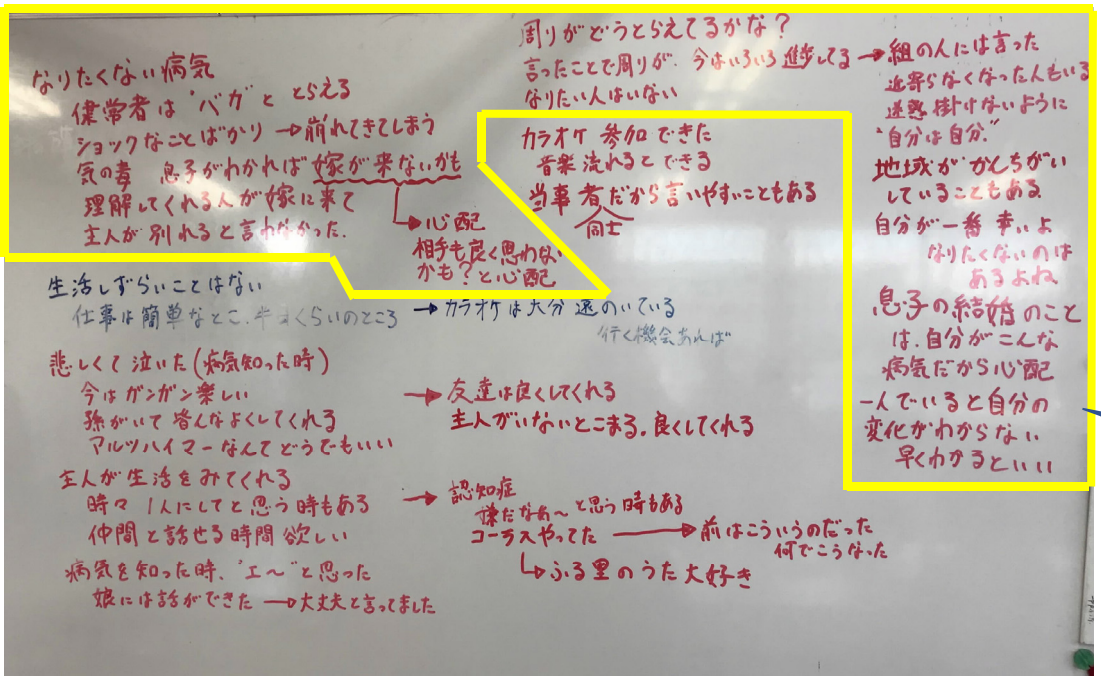
【認知症カフェ】
げんきになる会
皆と顔を合わせて元気！
体を動かして元気！
笑って元気！
食べて元気！

経　過

★地域密着型事業所の運営推進会議で「通いの場」の提案
★自治会長から「是非！」の前向きな言葉
★自治会外の皆さんも是非、集まってもらえばいい！

飯島町がめざす姿

【ビジョン】



若年性認知症交流会「鈴の音」
本人ミーテイング開催
（近隣市町村共同　駒ヶ根市・宮田村・中川村）

飯島町在住の認知症当事者の声

まちづくりに
どのように活かすか？

しあわせ寿命延伸のまちづくり

飯島町の三つの柱

①すべての高齢者にやさしいまちづくり
②健康寿命の延伸
③自立支援

具体的には

- 幅広い職域・年代への啓発と協働した支え合いの体制づくり
- 医療機関・地区と協働した介護予防（健康づくり）の取組み
- 自立した意思決定と自分ごとに捉え取組む気持ちづくり

人口減少

１０年後の飯島町の姿

少子高齢化

地域で支え合い健康で楽しく安心して暮らせる飯島町

飯島町の認知症施策の概要３

【二重線は認知症施策にも関連した事業】

平成30年度から段階的に整備
令和元年度

町直営（高齢者福祉係）	飯島町社会福祉協議会委託	総合ケアセンターいいじまいちご委託	生協総合ケアセンターいいじま委託	町単独事業	後期高齢者医療広域連合委託事業	伊南４市町村広域連携ツール
認知症施策・生活支援体制整備事業	一般介護予防事業			いちいの会（通いの場）	低栄養・重症化予防事業	認知症医療連携
【認知症カフェ】 ・相談支援型カフェ ・地域交流型カフェ ・活動企画型カフェ 【認知症ケアパスの普及・作成】 【生活支援の在り方検討】 【権利擁護、成年後見の啓発】 （家族介護教室として飯島町社会福祉協議会委託） などなど	【生きがい活動教室】 各地区を巡回した生きがい支援事業（週3回） 各地区での認知症予防の取組み	【健幸教室】 足腰に不安のある方向けの、体操、レクリエーション、交流を中心とした教室	【いいじま健康塾】 認知症予防 血圧 栄養 口腔衛生 排泄 などの 健康に関する知識の学びと運動の教室	【健康づくり事業】 ・出張健康測定 ・健康講座 体組成、握力測定 測定結果説明 フレイルとその予防について	BMI18.5未満 アルブミン4.0未満の方を対象にした個別支援	もの忘れ相談票
共生・介護予防・生きがいづくり			健康づくり・早期発見・重症化予防			

共　生　＋　予　防

行政・事業所・地域と協働し、「地域に合わせた」共生と予防の両輪を回す活動づくり

認知症地域支援推進員の活動における役割

※地域包括支援センター兼務

【求められた役割】
・地域支援事業と連動した
　認知症施策の推進
（生活支援コーディネーターと連携）
・包括のケアマネジメント力の向上
（課題抽出、対応力向上）
・地域支援体制の構築
・活動を通じた地域支援
・活動を通じた個別支援

健康福祉課長
（地域包括支援センター長）

高齢者福祉係長

認知症地域支援推進員
主任介護支援専門員
生活支援コーディネーター

包括兼務

【第１層】
生活支援
コーデイネーター

【役場内に１名】

【第２層】
生活支援
コーデイネーター

介護保険事業所に
配置（委託）
【３名】

【第３層　地区】
生活支援
コーデイネーター
通いの場コーディネート

【役場内に２名】

地域包括支援センター

主任介護支援専門員
社会福祉士

認知症地域支援推進員
看護師

保健師
介護支援専門員

介護支援専門員
社会福祉士

【求められる役割】
・活動を通じた個別支援
・活動を通じた地域支援
・介護予防事業
・地域啓発活動

平成30年4月
認知症地域支援推進員配置

組織形態、活動における
役割を明確化。
※第３層生活支援コーディネーターは
令和元年度より配置

地域包括支援センター機能の明確化と保険者機能の強化

◎個別支援を展開し「繋ぐ」「協働」できる地域包括支援センターの体制づくり
◎地域包括支援センターの「事例」を「展開」「連携」して実施できる保険者機能の強化

個別地域ケア会議の充実から「課題抽出」意識の向上と事業を抱え込まず繋ぐ意識の向上に繋がった。
（地域包括支援センター）

包括支援センターと保険者の協力体制

個別支援・地域支援
（包括支援センター）

施策のバックアップ、連携、実施

包括支援センターへの協力体制

施策・体制整備
（保険者）

関係部署・機関

定住関係	交通関係
環境関係	農業関係
地域関係	教育関係

連携

支援体制の確認
モニタリング
地域課題
ネットワーク形成
専門職の視点
社会資源の利用
社会資源の確認
地域支援の確認
実践力の向上
個別地域ケア会議
専門的助言

◎資質向上・多職種連携・研修

推進員

繋ぐ（連携）

実施・連携

地域づくり　認知症施策事業（認知症地域支援推進員）

生活支援　生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

介護予防　介護予防・日常生活支援総合事業

多職種連携　在宅医療・介護連携事業
在宅医療・介護連携

◎施策反映・協力体制

連携・多職種協議

地域ケア推進会議

地域ケア会議からの展開
～包括的・継続的ケアマネジメントの一例～

コンビニ 給油所 従業員 ＋ 地域包括 支援センター ＋ 推進員 コーディネーター ＋ 介護保険 事業所 ＋ 民生児童 委員 ＝ ゴミステーションの増設 安心して外出できる 見守り体制

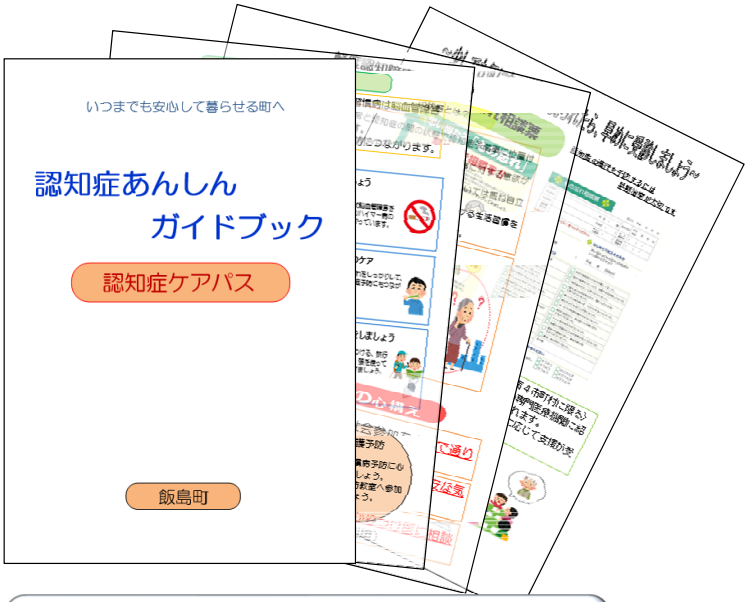
○認知機能低下が見られる個別の事例からの展開
○「気づき」はコンビニ・給油所の従業員からの情報
○地域を見渡した時、安心して暮らすことは「見守り」以外に「利便性」を図る事も大切と認識
○民生児童委員から自治会へ地域の利便性の向上を提起

坂を上りゴミステーションへ

高台のゴミステーション

ゴミステーション増設

飯島町の認知症施策　今後の課題



【平成30年度作成】
平成28年度～平成29年度に行った「介護教室」の資料を抜粋して作成する。

【認知症ケアパスの普及・見直し】
- 地域に「フィット」したケアパスへ！
- 本人、家族の「声」を盛り込んだ形へ！
- 専門職の「顔」が見える形へ！
- 様々な職域の方の「顔」が見える形へ！

【「声」・「情報」を繋ぐ連携体制】
- 民生児童委員からの「声」・「情報」を！
- 様々な職域の方からの「声」・「情報」を！
- 専門職（包括）と地域を！

などなど！

認知症も生活支援も介護予防の必要性も地域と一体化した連携体制を住民、介護事業所とともに歩みながら！

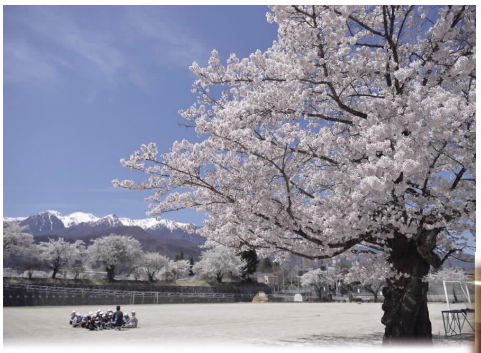
推進員のみなさんへ

「今」その時に繋がる地域を大切に！
「今」その瞬間に感じた気持ちを大切に！
「今」その時に巡り合う人々を大切に！

辛いとき、泣きたいとき、嬉しいとき、楽しいとき、今その瞬間に感じた想いが「誰か」と繋がり自分を動かします。地域と一緒に歩む第一歩です。
地域に繋がりが広がる中で「勇気」が生まれ「創造性」が芽生えます。
推進員の皆さんとの繋がりを大切に、情報交換をしながら歩んでいきましょう。

私自身が・・・心に響いた「大切な」言葉

「創造力」　「妄想力」　（時として）「暴走力」　「勇気」　「楽しむ気持ち」



自然豊かな
この土地に

人のやさしさが
満ち溢れ

しあわせ寿命延伸の
まちづくり

ご静聴ありがとうございました